

事業所名

あおぞらの木

支援プログラム

作成日

令和7

年

2月

19日

法人（事業所）理念		自他共に認め合い、共に生きることのできる人間性を育む		
支援方針		子ども一人ひとりの特性に沿った支援を行う		
営業時間		平日：10：00～19：00 祝日：9：00～18：00	送迎実施の有無	<div>あり</div> なし
		支 援 内 容		
本人支援	健康・生活	・心身の健康状態の把握（日常の体調確認や管理・毎日の検温） ・生活リズムの安定（適度な運動・個別での生活に対する時間や空間の整え方を身につける） ・基本的生活スキルの獲得（挨拶・食事・睡眠・入浴・排泄・清潔保持・衣服の調整・身の回りの整理整頓）		
	運動・感覚	・基本的な身体の使い方を知る（予防医学に基づいた体操プログラム・アニマルフロー・倒立・ブリッジ・コーディネーション運動） ・自他との距離感・空間・時間の感覚（リズム運動やダンス・ボール遊び・球技・サーキット運動・ハンモック遊び・タイマー遊び・ブロック遊び・パズル・粘土遊び・貼り絵）		
	認知・行動	・適切な行動力を身につける（模倣から学び、自発的行動を身につける・その場にあったルールを学び、善悪の判断ができる） ・認知の偏りや一人ひとりの特性に配慮した支援（ルールのある遊び・視覚的な情報提示・環境設定） ・行動障害への予防及び対応等（戸外活動・公共機関の利用・スケジュール管理・保護者との共有）		
	言語コミュニケーション	・伝える・受け取る経験を通して他者との関わりをもつ（感情カードを用いて気持ちを伝える・読み聞かせ・すごろく） ・非言語コミュニケーションの活用（気持ちを文字や絵で表現する・指差し・身振り・絵カード） ・言葉と経験の関連性や語彙力の向上（気持ちの代弁・帰りの会にてスピーチ・言葉での関わり促す		
	人間関係 社会性	・自己理解・他者理解（アタッチメントの形成・スキンシップ・協力型ゲーム（謎解き）・球技運動・話を聞く） ・感情のコントロール（感情カードの活用・ルール遊び・集団活動・環境設定（クールダウンできる空間）		
家族支援		・子どもの発達状況や特性に合わせた関わり方・困りごとへの相談援助 ・兄弟姉妹への相談援助 ・連絡帳を活用する事で、家庭・事業所の様子を共有 ・保護者会を通して保護者同士の交流	移行支援	・児童に合わせた移行計画を立てる（個別で児童も同席） ・職員と一緒に次へのステップを体験・経験する ・移行先との情報共有
地域支援・地域連携		・地域の学童や児童館など情報収集・連携を行い、交流する ・地域のイベントへの参加 ・相談支援事業所や障害福祉サービス事業所との支援の連携	職員の質の向上	・虐待防止・身体拘束等の研修会への参加・内部研修の実施 ・毎日、振り返りと次に繋げる支援の検討会 ・児童の行動等を色々な側面から検討できるように仮説会議の実施 ・事業所運営に係わる資格取得研修や勉強会への参加
主な行事等		・他事業所交流会（大運動会・ドッチボール大会・スポーツ大会等） ・地域交流（ハロウィン・クリスマス等） ・海体験 ・季節に応じた行事の取り組み（進級式・こどもの日・事業所運動会・海や川遊び・プール遊び・お泊り会・ハロウィン・クリスマス・新春マラソン大会・節分・ひな祭り・毎月の誕生日会）		